

2019年度 UNSW 研修の記録

期間：7月29日（月）～8月8日（木）

参加者：2年生（73回生）男子6名・女子12名、引率：2名

研修場所：オーストラリア シドニーのニューサウスウェールズ大学

宿泊：2人1組で、ホストファミリー宅にホームステイ

7/29(月) 夕刻関西国際空港集合。カンタスの直行便で冬のシドニーへ

この時点ではまだ半袖



7/30(火) シドニー到着後、バスで University of New South Wales Global へ



オリエンテーション・キャンパスツアー・お世話をして下さる UNSW 学生ボランティア（メンター）との対面と交流…そして最後に、ホストファミリーと対面し、ホームステイ開始



7/31(水) 英語研修（講義と演習）Diala 先生

午前1：自己紹介、将来の夢、研修の抱負、職業観についてシェア。オーストラリアの地理についても学びました。

午前2：シドニーCBD(Central Business District)について調査、情報交換、発表。これで午後からの
City Tour の予習ができました。

午後：シドニー中心部見学

UNSW 学生スタッフのマーシャとオスカーの案内で、路線バスに乗ってシドニーCBD へ。オペ
ラハウス、ハーバーブリッジ、ルナパークなど、午前中に得た情報の実物を見学。サーキュラーキ
ーからダーリングハーバーまで船に乗り、海からの美しい眺めも満喫。タウンホールで解散し、各
自ホスト宅へ帰宅。



8/1(木) 英語研修(講義と演習) Marie 先生

午前1：「あなたにとって幸せとは？」Happiness について、互いの価値観の共通点や相違点を共有。
ディスカッションとリスニングや文法演習なども含む活動。

午前2：「グレートバリアリーフ」海の生態系破壊のビデオを見て内容把握。最終的にグレートバリア
リーフを訪れる観光客と生物学者のロールプレイの活動に結びつけ、環境問題について考えな
がら、相手を説得する方法を学びました。

午後：プレゼンテーション準備開始。メンターがプレゼンの方針や手法を説明し、各グループの動き
をサポート。日本人とオーストラリア人にアンケートを実施し、仮説、比較、分析、結論を導
き、パワーポイントを使って発表するという本格的なプレゼンテーションです。方針が決まっ
たら、いよいよキャンパスに出て、現地学生にインタビュー開始。最初は緊張しましたが、メ
ンターに勇気づけられて果敢に挑戦し、どの班も沢山の学生の協力を得ることができました。



8/2(金) 英語研修(講義と演習) Diala 先生

午前1：テーマはプレゼンテーションについて。プレゼンで困難と思うことについてグループディス
カッション。それぞれの問題点の解決策を共に考える活動。ペチャクチャプレゼンテーション
(20枚のスライド1枚につき20秒間で話す形式)の説明。オーストラリアの各州を調査する

活動開始。

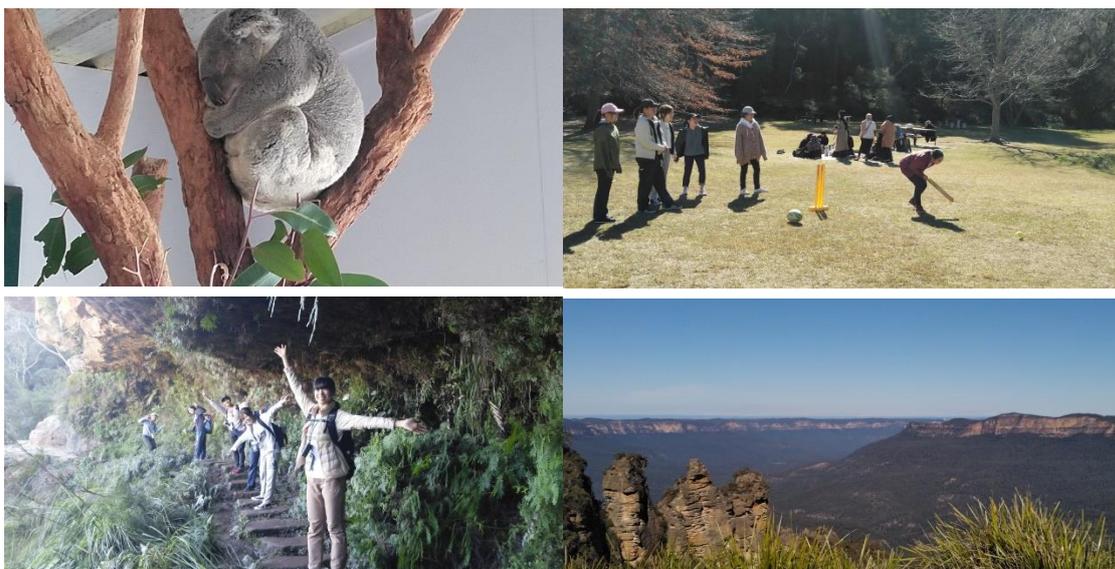
午前 2：コンピューター教室で Diala 先生指導の下、最終プレゼンテーションの準備。各グループで、昨日の調査結果について話し合い、パワポ作成に取り掛かりました。

午後：マーシャ率いる 8 人のメンターのサポートのもと、最終プレゼンテーションの準備。今日パワポや原稿をほぼ完成させて、月曜日には練習するのを目標に、猛スピードで作業を進める。たった 2 時間でできるのか？と不安がよぎりましたが、メンターに引っ張ってもらいながら驚くべき集中力を発揮し、大きな進歩を遂げました。メンターの皆さんに心から感謝！



8/3(土) Blue Mountains and Featherdale Tour

ブルーマウンテンズとフェザーデール動物園を訪れる 1 日ツアーで、オーストラリアの雄大な自然を満喫しました。動物園では、コアラ、カンガルー、エミュ、ウォンバット、タスマニアデビルなどのオーストラリアならではの動物と触れ合い、記念撮影。芝生でピクニックランチの後、ガイドのダミアンにクリケットを教わり、歓声を上げて大いに盛り上がる場面も。ユーカリから揮発する油分が太陽光を浴びて山々が青くなったことからブルーマウンテンズと呼ばれるようになったことや、この地域の地形と地層の特徴や植物についての説明に熱心に耳を傾けながら、ブッシュウォークを楽しみました。山道を歩くのは結構ハードでしたが、エコーポイントからは、溪谷一帯を覆うユーカリの緑と遠方に青く霞む山々に奇岩スリーシスターズの絶景を眺め、感嘆のため息が漏れました。素晴らしい 1 日でした。



8/4(日) ホストファミリーとの休日

ビーチに行った人、ショッピングや教会に行った人、家庭ごとに様々な楽しみ方をしました。

8/5(月) 英語研修（演習）Diala 先生

午前1：「オーストラリアの歴史」オーストラリア先住民の文化と言語、ヨーロッパからの入植、入植者と先住民との間に起きた出来事を述べる記事を読んで解釈し、グループでディスカッションをして発表。やや難しい内容でしたが、一生懸命取り組み、多文化社会オーストラリアの歴史に対する理解を深めました。

午前2：オーストラリアの各州についてのグループプレゼンテーション。研修開始の頃よりスピーキング力が大幅に向上しているのを実感。オーストラリアの食べ物に関するフリートークは盛り上がりました。

午後：最終プレゼンテーション準備。全てのチームがパワポを使って練習をする段階まで達しました。今日も沢山のメンターがリハーサルに付き合ってくれました。あとはひたすら、練習あるのみ。



8/6(火) Cultural Activity Day

メンターのアシュラーの案内で、シドニー市街地・ロックス地区・王立植物園を訪れました。まずは Pitt St Mall で自由散策と昼食。そこから徒歩で歴史地区ロックスまで移動しました。ここはイギリスからの入植者が最初に開拓した場所で、The Rocks Discovery Museum では、展示品や映像、体験コーナーなどを通じて、先住民の時代からヨーロッパ人の入植、現代の多文化社会に至るまでのオーストラリアの歴史を学ぶことができました。続いて The Royal Botanic Garden に移動し、Aboriginal Heritage Tour に参加。先住民のバックグラウンドを持つガイドの方から、園内の様々な植物や鳥、先住民の生きる知恵について、アボリジナルの言葉を交えながら教えていただきました。全員興味津々で英語の説明に聞き入り、様々な「食べることが可能な」植物を口にしたり、ブーメランなどの狩りや生活に用いる道具を触らせてもらいながら、楽しく園内を歩き回りました。



8/7(水) いよいよ UNSW 最終日！

午前1：最終プレゼンテーション本番です。みんな緊張の面持ちで登校しましたが、本番はどのグループもこれまでの努力と練習の成果を存分に発揮し、内容・パフォーマンス共に素晴らしい出来栄でした。各グループのテーマは「安楽死」、「教育現場におけるコンピューター」、「節電への意識」、「ペットと動物愛護に対する考え方」、「高校生の日常生活」というものでした。メンターからも Diala 先生からも、大変クオリティが高かったとお褒めの言葉をいただきました。質疑応答でもお互いに質問ができるようになり、生徒たちの大きな成長が感じられました。発表後、Diala 先生より各グループにフィードバックがあり、各トピックについてのフリーディスカッションをすることで、自分たちの発表内容を更に掘り下げることができました。



午前2：修了式

一人一人の生徒に修了証書が手渡されました。プログラムのスタッフ、Diala 先生、メンターの皆さんからもコメントをいただきました。お世話になった皆さんと、今度は日本で再会する約束をしました。



午後：キャンパス内を各自散策。

これまで忙しすぎてゆっくりキャンパスを歩き回る時間がなかったので、思い思いの時間を過ごし、UNSW とお別れです。

夕刻：専用バスで、空港近くのホテルに移動。

全員で夕食を食べた後、反省会を行い、研修を振り返りました。18人それぞれが様々な苦勞を乗り越えて、人の優しさに触れ、多くを学んだことを知り、大変密度の濃い時間を過ごしました。

8/8(木) 朝、シドニー国際空港から関西国際空港に向けて出発。

午後7時頃、家族が待つ暑い日本に、無事に帰国しました。